

令和4年3月3日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市男女共同参画審議会
会 長 松尾 州裕

「第4次荒尾市男女共同参画計画（案）」について（答申）

令和3年7月1日付け荒総務第439号にて諮問のありました荒尾市男女共同参画計画策定につきまして、本審議会により慎重かつ厳格な審議を重ねた結果、「第4次荒尾市男女共同参画計画(案)」として成案を得ましたので、ここに答申します。

なお、本計画の推進にあたっては、下記に示した重点目標の事項に十分配慮され、基本理念である『^{ひと}女と^{ひと}男、すべてのひとがいきいき輝くまち』を目指して、行政、市民、事業所等が一体となって課題解決に向けた取組みを着実に推進されるよう求めます。

記

重点目標 1 あらゆる分野における女性の活躍推進

- 1 荒尾市の審議会等における女性の登用率は少しずつ上昇しているものの、目標にはいたっていません。また、女性がいない審議会もあります。性別に偏りなく広く市民の意見を反映するために、令和8年度目標35.0%の達成に向け、積極的に女性の委員登用を推進していくことを求めます。
- 2 荒尾市の管理職に占める女性の割合についても低い現状です。性別に偏りのない行政経営のために、積極的な女性管理職の登用を求めます。
- 3 女性活躍の支援となる働き方改革について、行政、事業所等が一体となり、より力を入れ推進していくことを求めます。

重点目標 2 男女共同参画社会実現のための意識改革・社会基盤の整備

- 1 荒尾市民の男女の平等感について、市民意識調査の結果から全国平均と比べ低い傾向にあります。性別による固定的な役割分担意識や、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は根強く、それに基づく働き方や慣習・慣行が見られます。一人でも多くの市民がそのことに気づくために、更なる啓発活動に尽力されることを求めます。
- 2 共働き世帯の主流化に伴い、男女に関わらず仕事と生活の調和（両立）が重要です。制度の充実や環境の整備について、引き続き推進を求めます。
- 3 男女共同参画社会の実現のためには、子どもから大人まで、すべての市民に男女共同参画の視点にたった教育が重要です。一人ひとりが尊重され、男女平等の意識を育てる教育の推進を求めます。

重点目標 3 安心・安全な暮らしの実現

- 1 大規模災害が多発している昨今、安心安全な暮らしの実現のため、男女のニーズの違いを踏まえた男女共同参画視点からの防災力の向上に努めることを求めます。
- 2 ひとり親家庭や生活困窮者、高齢者、障がい者等、様々な立場の市民一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない支援体制の充実を求めます。
- 3 暴力は重大な人権侵害で、いかなる理由でも許されるものではありません。特にその被害者の多くは女性が占めている現状があります。男女間における暴力の根絶に向けた施策の更なる推進を求めます。

重点目標 4 推進体制の充実・連携強化

- 1 ジェンダー平等の視点に立ち、行政の様々な施策を推進していくことが重要です。市の横断的な推進体制の充実と男女共同参画施策の進捗管理及び効果的な推進を求めます。
- 2 国際的な協調及び貢献のため、世界共通の目標である SDG s のゴール達成に向けた施策の推進及び荒尾が世界に誇る世界遺産「万田坑」を活用した学習の推進を求めます。
- 3 「男女」にとどまらず、年齢、国籍、性的指向・性自認に関することも含め、幅広く多様な人々を包摂し、全ての人が幸福を感じられる社会の実現を求めます。

以上

